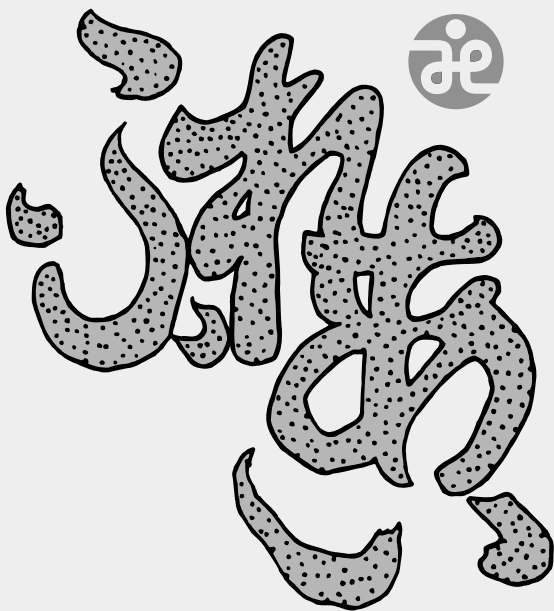


きさい

社会福祉法人
騎西町社会福祉協議会



No. 39

平成17年 9月30日発行 年2回発行

社会福祉法人 騎西町社会福祉協議会

騎西町大字根古屋633-2 (老人福祉センター内)

TEL 0480 (73) 2341 FAX 0480 (73) 3516

介護サービスセンター

TEL・FAX 0480 (73) 6621 (居宅介護支援事業所)

TEL 0480 (70) 2816 (訪問介護事業所)

Eメール kisai-1@mb.jnc.ne.jp

ホームページ <http://www.cnet-sb.ne.jp/kisai-1/>

社会福祉協議会は、通称「社協」と呼ばれており、地域の人々が暮らしやすい「福祉のまちづくり」をすすめる民間団体です。

騎西町社協では近隣の社協と共同で、障がいのある子供たちと地域で暮らす皆さんがふれあえるプログラムを行いました。

(「みんな集まれ! ヨーイウ・どん」より)



おいしいうどんができるかなあ?

主な内容

予算・決算と事業の概要

ボランティア体験プログラムの報告

学校ボランティア養成講座について

支部社協の部屋

(1) 社協だより「ふれあい」は、共同募金の配分をうけて発行されています。

平成16年度の事業報告と決算

平成16年度 収支決算書

事業の概要

高齢者福祉

- ・会食、配食サービス
- ・乳酸飲料の配達（見守り事業）
- ・80歳高齢者写真撮影
- ・一人暮らし高齢者への友愛通信（絵葉書）

心身障害者福祉

- ・朗読、点訳サービス
- ・リフト車による移送サービス
- ・視覚障害者との交流会
- ・障害者学級

ボランティア活動・福祉教育の推進

- ・彩の国ボランティア体験プログラム事業
- ・心の健康入門講座
- ・介護法講習会
- ・福祉教育・ボランティア学習研修会
- ・福祉協力校の指定

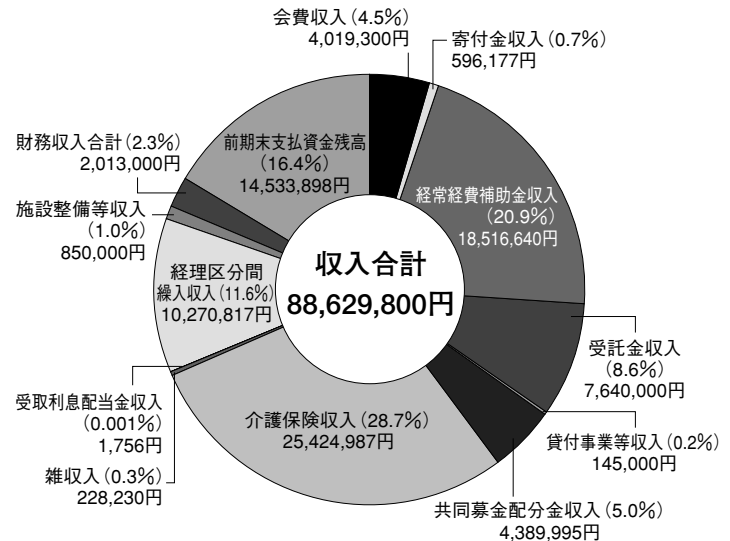
介護保険サービス事業

- ・居宅介護支援事業所の運営
- ・在宅訪問介護事業所の運営

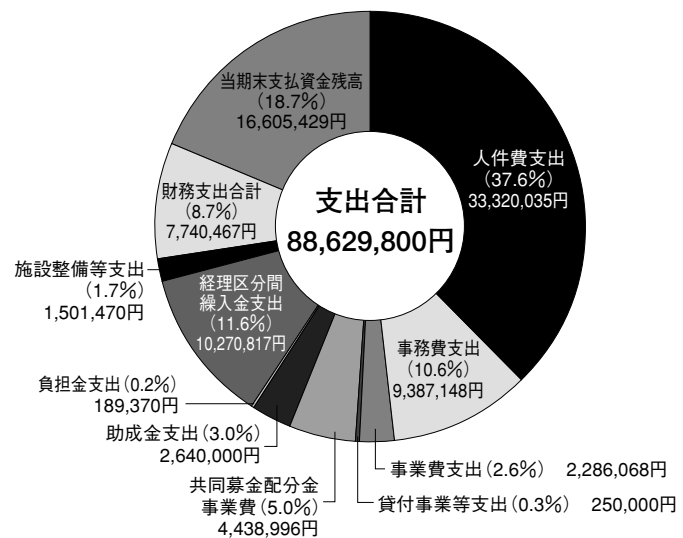
その他の事業

- ・社会福祉大会の開催
- ・生活福祉資金、町福祉資金の貸付
- ・権利擁護事業
- ・心配ごと相談所の運営
- ・福祉団体、ボランティア団体への援助指導
- ・赤い羽根共同募金運動
- ・歳末たすけあい運動
- ・日本赤十字社資募集運動

《収入》



《支出》



経理区分別内訳（支出）

法人運営	25,281,758円	老人福祉センター事業	6,518,363円
地域福祉活動推進事業	2,692,997円	ふれあい福祉資金事業	7,726,067円
ボランティアセンター	997,389円	居宅介護支援事業	4,458,853円
共同募金配分金事業	4,438,996円	在宅訪問介護事業	19,446,703円
心配ごと相談事業	178,650円	当期末支払資金残高	16,605,429円
福祉資金貸付事業	284,595円	合計	88,629,800円

平成17年度の事業計画と予算

平成17年度 収支予算書

基本方針

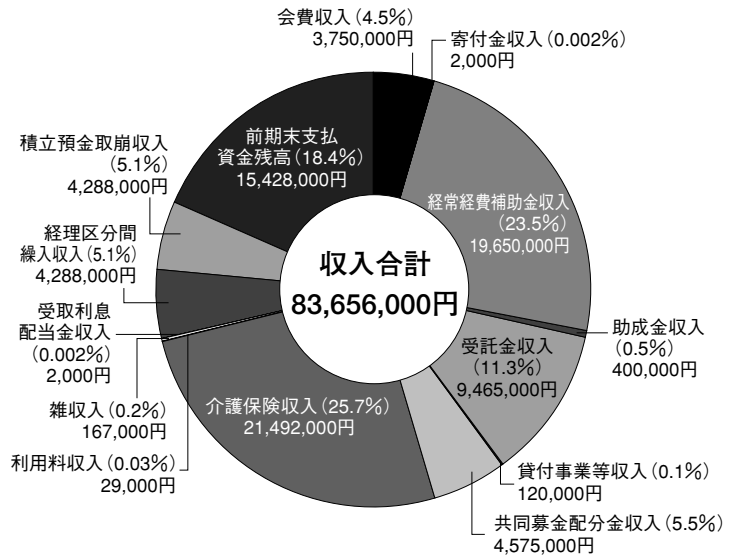
社会福祉法人騎西町社会福祉協議会は、社会福祉法に定められた団体です。地域福祉に関する団体や施設、またボランティアの方々など多くの人々によって構成された民間の法人で、一般的には「社協」という名で呼ばれています。

私たち社協では、高齢者の方や障害のある方、また子供達など地域で生活する全ての人々が住み慣れた町で、安心して暮せるまちづくりを推進するために活動を行っています。

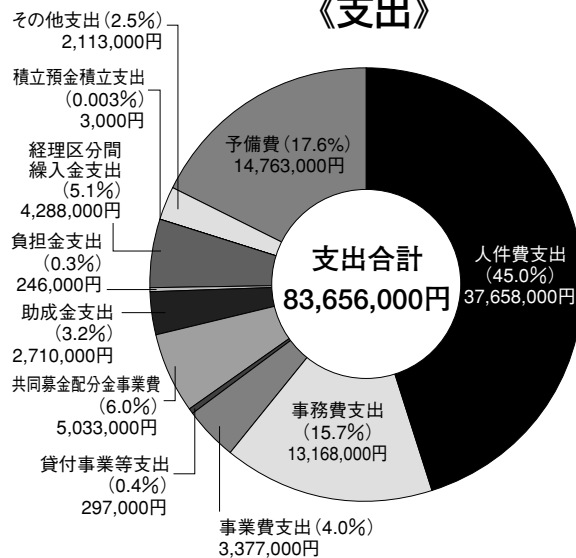
重点目標

- 1 在宅福祉サービス事業の推進
- 2 ボランティア活動、福祉教育の推進
- 3 相談活動の強化
- 4 介護保険サービス事業の充実
- 5 自主財源の確保

《収入》



《支出》



経理区分別内訳（支出）

法人運営	22,438,000円	老人福祉センター事業	10,078,000円
地域福祉活動推進事業	3,438,000円	ふれあい福祉資金事業	4,291,000円
ボランティアセンター	1,453,000円	居宅介護支援事業	5,409,000円
共同募金配分金事業	5,033,000円	在宅訪問介護事業	16,398,000円
福祉資金貸付事業	365,000円	予備費	14,753,000円
		合計	83,656,000円

夏！ 体験しました(^_^)v

全国的な調査では、ボランティアを实际にしたことがある人は約1割ですが、機会があれば参加してみたいと考えている人は約6割に達しています。

「彩の国ボランティア体験プログラム事業」は、ボランティア活動に興味や関心がありながら、なかなかきつかけがない・忙しい、難しそう、何をしても

吉川保育園

子ども達に接することができ、自分の中の「優しい気持ち」を発見することが出来ました。保育園の先生方の大切な宝物を見るような目に色々なものを教えていただきました。



町立保育所

将来の夢の実現へ一歩近づくことができ、とても良い経験となりました。

験となりました。園児達もたくさん声を掛けてくれたり、笑顔で一緒に遊んでくれたりと、とても居心地のよい環境の中でボランティアを体験することが出来ました。



点字体験

この体験をしてみて、点字って打つのは以外と大変なことなんだと分かりました。それに、目の見えない人が読む方がもっと大変だとわかり、点字って奥が深いんだなと思いました。



輪投げで交流(高齢者と子ども達で交流)

とても楽しかった。難しかったです。おじいちゃんやおばあちゃんがとてもうまかったです。



朗読体験

はじめは声が出なかったり、咳が出たりしてうまく読めなかったけど、本番では、取りあえず最後まで読んで良かった。今日、録音したものを目の見えない人が聞いて私たちの声でも「聞きやすかった」など言ってくれたら嬉しいなと思う。



暑いボランティア体

いかわからない・といった気持ちをもった方々の背中をポンと押したいと考えたことから始まり、今年で10年目となりました。今年度、騎西町社会福祉協議会では夏休みを中心とした7月・8月・9月に10メニューを用意し、延べ97名の方の参加がありました。では、参加者の声をお届けします。



盲導犬を知ろう

盲導犬についていままで知らないことを知ることが出来てとてもいい経験になりました。日本に盲導犬は1000頭弱しかおらず、その何倍もの方が盲導犬が欲しいのに足りないというのが現状だそうです。この状況を良くするためにも人々の寄付が必要という事など私たちの知らないところでもとても大変なことを知りました。



デイサービスセンター

とまどってしまった場面が何度もありましたが、その都度職員の方が優しく声をかけてくださいました。本当の家族のように老人の方とふれ合っていてとてもすごいと思いました。最後にうたった歌が今でも心に残っています。



車いす指導者養成講座

改めて坂道などの大変さも体験しました。実際に外に出

ると乱雑な自転車の置き方が車いすの動きを邪魔していたので、1人1人のモラルが大切なので子ども達にもきちんと声を掛けたいと思います。



みんな集まれ！ヨイヨイ・どん(障がい児との交流)

わたしは、この活動に参加していっぱい友達ができて良かったです。あと、うどん作りで作り方とか色々おしえてもらって、とても勉強になりました。



ワークスみぎわで木工体験



木工工作をして、何かを作ることにはけっこう楽しいことなんだなと思いました。

学校ボランティア養成講座

～すべての子どもが共に地域で学ぶための支援プログラム事業～

「学校ボランティア養成講座」が8月18日から始まり、第1回目の講座には城西国際大学の坪井先生と、久喜市の特定非営利活動法人ハローハンディキャップ・タイム代表の川岸さんと古堺さんから講話をいただき、24名の方の参加がありました。第2回目は、残暑が厳しい中、4名の方が騎西養護学校の夏祭りの手伝いに来てくださいました。この講座をとおして、障がいのある子も障がいのない子も地域の中で共に育ち学ぶ環境ができればと思います。



次回の講座は下記のとおりです。

第3回からの参加も出来ますので申込みをお待ちしています。

- 第3回** 11月2日(水) 午前9時30分～12時
場所：騎西養護学校 ◆全校集会に参加と学習会（講師：養護学校教諭）
- 第4回** 11月19日(土) 午前9時～午後3時
場所：騎西養護学校 ◆養護学校の文化祭でボランティア体験



「 埼 玉 県 福 祉 教 育 ・

ボ ラ ン テ ィ ア 学 習 推 進 員 」 で す

埼玉県社協主催の、福祉教育の指導者を養成する研修が5日間にわたり開催されました。この研修に騎西町から下記の5名の先生が参加されました。現在、活躍されている推進員の方と共に、学校における総合学習の時間や地域での福祉教育研修会などに取り組んでいただきます。【敬称略】

騎西小学校	藤間	晴子
田ヶ谷小学校	大竹	君代
種足小学校	秋山	清
鴻荃小学校	三枝	裕子
騎西高等学校	水野	浩

◎今月は騎西支部を紹介します。



目指せ！小粒でも

キラリと光る地域社協を

騎西支部の活動

大きなイベントは、毎年10月に行なう敬老食事で、78歳以上の方を対象として実施しておりますが、昨年参加予定者は98名でした。

当日の役割分担は区長さんが招待者の送迎担当、民生委員さんが料理の準備と手分けをしております。

食事会の余興は女性ソーラン団体、歌、踊りとすべてボランティアでお願いしておりますが、特にソーラン団体のリードで会場一体となって行った健康体操は好評でした。また、「ふれあいサロン」という事業を騎西支部独自に

実施しております。この事業は高齢者が出来るだけ住まいから近くの会場で集い、コミ

ユニケーションを図って頂きたい。との発想から実施している事業です。そのような観点から支部内十三行政区へ予算を計上し区長、民生委員さんが中心となって事業を計画し行なっております。ちなみに毎月実施している行政区もありませんが、全般的には年に一度のイベントを実施しているのが現状です。

それから、新たな事業として9月には80歳以上の方を「友愛訪問」することを計画しております。この事業は予算面から見ますと厳しい事業ですが、民生委員さんからの熱い

要望を受けて予算化し、騎西地区約に220名を訪問する予定となっております。



これからの課題

福祉の地域づくりの重要な要素は「ひろがり」だと考えます。

年間予算の50%強を占める敬老食事会のイベント対象者は、208名から290名ですが、参加者率は約40%で推移しておりますので、いずれマンネリ化して活動がしぼんでしまう懸念がありますし、来たくとも会場に来られない人々を思うと、行事の見直しが必要と思います。

それに何かのイベント実施に当たっては民生委員さんの大きな負担によるところが多いのも現実でありますので地域の人的ひろがりをもつ場に育てることが重要です。また、福祉の地域づくりは、地域の魅力を創り出して行くことを考えたとき、それは議論ではなく実践ではないでしょうか。



赤い羽根募金 がはじまります

今年も赤い羽根をシンボルとした「赤い羽根共同募金」が10月1日から12月31日まで全国一斉に始まります。

集められた募金は社会福祉協議会や福祉団体・施設など、民間の社会福祉事業の推進のために役立てられます。

私たち騎西町社会福祉協議会も、埼玉県共同募金会騎西町支会として町内で募金活動を行っていきますのでご協力をお願いします。



10月1日 ▶ 12月31日

あなたの募金が、
あなたのまちの福祉を支えています。



http://m.akaihane.or.jp

移送サービスをご存知ですか？



騎西町社協では、福祉車両を使って車いすを利用している方などを中心に、医療機関や福祉施設などへの移送サービスを行っています。現在、燃料代を除き無料でご利用いただいております。ご利用方法などについては事務局までお問い合わせ下さい。



この車両は日本財団からの助成をうけて購入しています。

編集後記

社協の事務所がある老人福祉センターの周りでも稲刈りが始まり、すっかり秋の風景になってきました。私たちにとって、秋は共同募金の始まりの季節でもあります。募金にご協力してくださった方たちの気持ちを大切にしながら、社協として事業をしっかりと実施していきたいと思っています。

理事及び評議員の選任について

理事会及び評議員会で下記のとおり選任されました。

任期は、残任期間（平成18年5月31日まで）となります。（敬省略）

《理事》

役職名	氏名	選出区分
副会長	坂本 嘉一	議会
理事	岡 啓一	区長会

《評議員》

氏名	選出区分	氏名	選出区分
野原 正光	区長会	秋池 竹司	福祉団体
清水 幸作	区長会	馬橋 幸子	支部社協
柿沼 宏昌	区長会	齋藤 方子	保護司
坂口 宏	区長会	福田 米子	民生委員
吉野 辰夫	区長会	市川 皓一	議会
渡辺 克彦	区長会		